

平成23年度山形県立博物館 考古学講座

— 縄文時代の置賜 —

近年、大規模な開発事業に伴い、山形県埋蔵文化財センターおよび市町村教育委員会によって発掘調査が行われ、豊富な調査資料が得られています。本講座は、これらの資料を有効活用し、埋蔵文化財の保護と普及、博物館の教育普及活動を積極的に進めることを目的に行われるものです。4年前から県内の代表的な遺跡を地域ごとに扱ってきましたが、本講座はその最終章にあたります。

1 日時 平成23年10月22日／11月19日／12月17日／平成24年1月28日／計4回（土曜日・午後1時30分～3時00分まで）

2 会場 山形県立博物館 講堂

3 対象 一般・定員50名

4 申込み 参加無料・申し込みは不要

5 講演のテーマと講師

日時	テーマ	講師
10月22日	「縄文最古のむら」 ひなたどうくつ 高畠町日向洞窟（縄文草創期）	井田秀和 （高畠町教育委員会）
11月19日	「土偶がつくられたむら」 だいのういせき 米沢市台ノ上遺跡（縄文中期）	菊地政信 （米沢市教育委員会）
12月17日	「石器がつくられたむら」 まつばらいせき 米沢市松原遺跡（縄文前期）	秦 昭繁 （山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館）
1月28日	「北陸との架け橋となったむら」 しもかのみずいせき 小国町下叶水遺跡（縄文後・晩期）	植松暁彦 （財団法人山形県埋蔵文化財センター）

6 お問い合わせ

山形県立博物館学芸課
電話 023-645-1111
FAX 023-645-1112
担当学芸員 押切智紀



米沢市台ノ上遺跡土偶